

科学と社会委員会分科会の設置について

分科会等名：ゲノム編集技術と社会に関する検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	科学と社会委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	ゲノム編集技術は様々な医療応用が期待される一方で、生命倫理に係る問題も指摘されている。 2015年12月に開催された国際ゲノム編集サミットでは、多角的な検討が行われ、適切な規制の下での基礎研究の重要性が指摘される一方で、生殖細胞関連の臨床応用については社会からの広範な意見聴取の必要性が示された。 日本学術会議においては、課題別委員会「医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方検討委員会」においてゲノム編集技術を医療に用いることの生命倫理上の問題点などを検討してきた。本年4月の公開シンポジウムでは、特にヒト生殖細胞の遺伝子改変に関する諸問題について引き続き社会との対話を続けることの必要性が指摘されている。 本分科会においては、ゲノム編集技術の課題と社会の関わりに関して、本年11月に開催が予定されているサイエンスアゴラにおいてシンポジウムを開催し、市民目線で議論を深めていくことを目的とする。 このため、期の終盤であるが、次期会期（第24期）の初めの開催準備のため、この時点で、新規分科会を科学と社会委員会の下に設置することを希望する。
4	審議事項	・ゲノム編集技術と社会との関わりについての検討事項の整理 ・公開シンポジウムにおける意見交換の進め方
5	設置期間	平成29年5月26日～平成29年9月30日
6	備考	※新規設置